

科目名 写真基礎演習Ⅱ

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	RAWデータを調整し、画像濃度分布を最大限に保ち、白飛び、黒つぶれのない画像データとして指定フォーマットに現像することができる (C-2)	RAWデータの現像方法について十分理解し、その特徴を生かす画像処理を実施することができ、指定された条件を満たした画像を制作することができる。	RAWデータの現像方法について概ね理解し、その特徴を生かす画像処理を概ね実施することができ、指定された条件を満たした画像を制作することができる。	RAWデータの現像方法について概ね理解し、その特徴を生かす画像処理を実施しようとするため、指定された条件を満たした画像を制作することができる。	RAWデータの現像方法について最低限理解し、求められている結果が伴う画像処理を実施し、指定された条件を満たした画像を制作することができる。	RAWデータの現像方法について理解しておらず、求められている結果が伴う画像処理を実施できず、指定された条件を満たした画像を制作することができない。
2	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換えを行う事ができる (C-2)	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換える方法を十分理解し、その特徴を生かした上で、対象とした画像の意図に応じて、必要となる画像処理を過不足なく実施することができる。	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換える方法を概ね理解し、その特徴を生かす画像処理を、対象とした画像の意図に応じて、概ね実施することができる。	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換える方法を理解し、対象とした画像の意図を意識して、画像処理を実施することができる。	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換えることができる。	修復ツールを用いて、オブジェクトの除去や置き換えを行う事ができていない。
3	調整レイヤーの特性を理解し、それを用いた画像処理により、色調補正に伴う調整をおこなうことができる (C-2)	調整レイヤーの特性を理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図に応じて、色調補正に伴う調整を過不足なく実施することができる。	調整レイヤーの特性を理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図に応じて、色調補正に伴う調整を概ね実施することができる。	調整レイヤーの特性を理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図を意識して、色調補正に伴う調整をおこなうことができる。	調整レイヤーの特性を理解し、それを用いた画像処理により、色調補正に伴う調整をおこなうことができる。	調整レイヤーの特性を理解しておらず、適切な画像処理をおこなうことができない。
4	マスク処理を伴った画像合成をおこなうことができる (C-2)	マスク処理を伴った画像合成について理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図に応じて画像補正をおこない、破綻のない合成を適切に実施することができる。	マスク処理を伴った画像合成について理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図に応じて画像補正をおこない、破綻のない合成を概ね実施することができる。	マスク処理を伴った画像合成について理解し、その特徴を生かした画像処理により、対象とした画像の意図を意識して画像補正をおこない、画像合成について概ね実施することができる。	マスク処理を伴った画像合成について理解し、画像合成について概ね実施することができる。	マスク処理を伴った画像合成をおこなうことができない。
5	撮影から画像合成の一連の作業を経て、被写界深度をコントロール(深度を深くする)した画像を作成することができる (C-2)	撮影から画像合成の一連の作業を経て、被写界深度をコントロールする一連の方法について理解し、対象物に対する制作意図に応じて、深く考えた撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を適切に実施することができる。	撮影から画像合成の一連の作業を経て、被写界深度をコントロールする一連の方法について理解し、対象物に対する制作意図に応じて、ある程度考えた撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を実施することができる。	撮影から画像合成の一連の作業を経て、被写界深度をコントロールする一連の方法について理解し、対象物の特徴を活かした撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を概ね実施することができる。	撮影から画像合成の一連の作業を経て、被写界深度をコントロールする一連の方法について理解し、必要な撮影と画像補正をおこない、合成された画像を概ね制作することができる。	撮影技術を用いた被写界深度のコントロールができない。
6	撮影から画像合成の一連の作業を経て、パノラマ合成した画像を作成することができる (C-2)	パノラマ合成について、撮影から校正の方法までを十分理解し、撮影対象に対する制作意図に応じて、深く考えた撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を適切に実施することができる。	パノラマ合成について、撮影から校正の方法までを概ね理解し、撮影対象に対する制作意図に応じて、ある程度考えた撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を実施することができる。	パノラマ合成について、撮影から校正の方法までを概ね理解し、撮影対象の特徴を活かした撮影と画像補正をおこない、破綻のない合成を概ね実施することができる。	パノラマ合成について、撮影から校正の方法までを概ね理解し、必要な撮影と画像補正をおこない、合成された画像を制作することができる。	適切な撮影を経て、パノラマ合成画像を作成することができない。